商工業者の皆様、業界発展のため揃つて函館商工会議所の会員になりましよう

函館商工会議所 会報

函館市鰻岡町1番地
発行所　函館商工会議所
電話代表③1181番
発行人　平田淳二

新産業都市の建設を推進

五施策を重点的に

函館商工会議所会頭　加藤　昇

年頭挨拶

年頭にあたり心から新春のお慶びを申し上げます。

さて、最近の我が国経済界を顧みますと、全般的には労者の生活も向上安定して急激な増大等に因る国際収支の悪化から、ついに昨年秋には、金融引締政策がとられるにいたり、その影響は中央からやがて地方へ、また大企業から中小企業へと波及し、本年三月ごろを契機に業界全般が相当の資金繰に当面する事態を生ずるのではないかと憂慮されている次第で、したがって中小企業にとっては多事多端な年となるのではないかと存じます。

こゝにおいて、昨年秋の議員改選にあたり、従来七十名の議員を八十名に増員しましたところ、幸いにも多方面にわたる業界代表を得ることが出来ましたことは御同慶にたえない次第であります。

新たに五つの委員会を設置し、中小企業の体質改善と合理化を推進するとともに業界の積極的な意見の結集と強固な団結を図り、以て今後の函館市経済界の飛躍的発展を目ざして一段と努力を誓う次第であります。

さて、昨年末には工業高専校の函館誘致あるいは貯木場の新設なども本体内定して明るい見通しが付きましたことは誠とに喜ばしいことであります。函館商工会議所といたしましては、本年は内部の整備充実に意を用いるとともに特に重点的施策として、

一、函館税関の存続
二、臨海工業地帯の造成を中心とする新産業都市建設の推進と新企業の誘致
三、貿易の促進
四、道南国立公園の実現
五、函館飛行場の整備拡充

の五点を採り上げたいと考えておりますが、これらの問題は、いずれも函館の運命を左右する重要問題で、一日も怠ませに出来ませんので市当局とも協力して急速にその実現を図りたいと固く決意している次第であります。

特に第二の点については函館市将来の繁栄には、この実現を措いても他に方策はないといっても過言ではなく、このためには隣接町村との協力、進んではその合併が是非とも必要で、機会あるごとに関係市町村の業界人同志との理解を深め、合併気運の醸成を推進したいと考えております。

いずれにいたしましても、函館地方経済の発展は企業の繁栄を期するには、まず経営者自身の深い認識と不断の努力が先決であります。本商工会議所においましても本年は一段の積極的努力を惜しまない所存であります。以上所懐の一端を述べ新年のご挨拶といたします。

景気よく街をゆく初荷の車　（北海道新聞社提供）

随時改め定例日に

本会議所の各種会議

函館商工会議所の各種会議会の新設を機に定例日に開催されることゝなり十二月六日開かれた常議員会で審議の結果今後は各会議ともつぎの定例開催日によって開かれることに決定した。

◇常議員会　毎月第三金曜日

◇部会（隔月）
第一月曜日　運輸貿易
〃　水曜日　工鉱業
〃　木曜日　卸商業
〃　金曜日　小売商業
第二月曜日　水産業
〃　火曜日　理財
〃　水曜日　観光サービス

◇委員会（隔月）
第二月曜日　総務
〃　水曜日　労務厚生対策
〃　金曜日　経営改善指導
第三月曜日　新産業都市建設
〃　水曜日　港湾整備

◇常議員会　毎月第三金曜日

五委員会正副委員長決まる

函館商工会議所の各委員会の正副委員長は、つぎのとおり委嘱された。

◇総務委員会
委員長　酒井唯八
副委員長　中村清右衛門

◇労務厚生対策委員会
委員長　竹田留治
副委員長　林鶴松
委員長　小松重四郎
副委員長　村上正夫

◇経営改善指導委員会
委員長　五十嵐長寿
副委員長　広瀬政雄

◇新産業都市建設推進委員会
委員長　阿部文男
副委員長　上谷禎次

◇港湾整備促進委員会
委員長　五十嵐長寿
副委員長　広瀬政雄

臨時議員総会開く

函館商工会議所は十二月六日午後三時から三階講堂で第四回臨時議員総会を開いたが審議にさきだち前函館開発建設部長栗林隆氏の「道南地方の総合開発について」と題する講話を聴いたのち、当日の議案つぎのとおり。

①報告事項　(イ)主な事務の報告(ロ)各委員会の経過について(ハ)委員会規程について(ニ)函館商業活動調整協議会委員の委嘱について(ホ)新産業都市建設の推進について(ヘ)その他

②審議事項　(イ)各種会議の定例開催日について(ロ)新年会について(ハ)その他

お知らせ

年頭来の主な事項

◇商工会議所年賀会
本商工会議所は三ヶ条年賀会を開催することとなり、前年末に開催した。それは各自年賀を廻りを行う、儀礼を簡素化するためのもの。一端として実施した。

◇委員会（隔月）
第二月曜日　総務
〃　水曜日　労務厚生対策
〃　金曜日　経営改善指導
第三月曜日　新産業都市建設
〃　水曜日　港湾整備

◇常議員会　毎月第三金曜日

◇部会（隔月）
第一月曜日　運輸貿易
〃　水曜日　工鉱業
〃　木曜日　卸商業
〃　金曜日　小売商業
第二月曜日　水産業
〃　火曜日　理財
〃　水曜日　観光サービス

◇田中政務次官を囲む議員懇談会
北海道開発庁政務次官田中芳氏代議士を囲む本商工会議所議員懇談会は一月五日正午から本所において開催、加藤会頭以下議員四〇名出席、確定した函館地区の重要問題、大野ヵン排水事業と工業高等専門校の促進施策を中心に熱心な意見交換があった。

◇中止した川村政務次官との懇談会
函館税関の存続問題について(イ)函館商業活動調整協議会委員の委嘱について(ロ)函館税関の存続問題について(ハ)函館商業活動調整協議会委員の委嘱について(ニ)その他

◇正副会頭、専務、部課長との業務懇談会
加藤会頭が事務の充実を図り会議所運営の円滑化に資する最初の試みとして計画された正副会頭、部課長会議は一月六日午後四時から五島軒において開催、正副会頭以下一〇名が出席ついて三十七年度の重要事務について種々懇談を重ね同六時三〇分閉会した。

◇鈴木石太郎議員の海外出張
本商工会議所観光部会長鈴木石太郎議員は香港での太平洋観光協会総会に出席する日観連東北、北海道代表として一月二十二日羽田を出発香港に向った。帰還は二月上旬の予定。

◇議員のみの理財部会
昨年来の金融引締が函館業界にどんな影響を及ぼしているかにつき本所中小企業相談所が資料の取まとめを行っていたが、右についての説明のための理財部会を二十日正午から本所において開催、一応調査内容を説明した。

◇遺商連の常議員および会議員懇談会
函館税関の存続問題について(イ)函館商業活動調整協議会委員の委嘱について(ロ)函館税関の存続問題について(ハ)函館商業活動調整協議会委員の委嘱について(ニ)その他

◇遺商連常議員および会議員懇談会
北海道商工会議所連合会の常議員会と総会および会議員懇談会は一月二十六日札幌出村部会頭が高間局長を同道出席の予定。

相当な躍進示す

両デパートの売上

本市の両デパート棒二森屋と丸井今井が昨年中の売上高は二億七百余万円で前年比は一二・七％の伸び増加を示した。

印刷経費の節減と、すぐ間に合う印刷
技術に定評ある　久保内のタイプ印刷
TEL　②2678　②6742

新らたに設備したすばらしい
タイプオフセット
●オペレーターが打字したタイプネガ原紙を直接ジンク版に焼付してオフセット印刷機で印刷する。
●写真植字機で印画紙で印字し現像したものを写真製版法によりジンク版に焼付してオフセット印刷機で印刷する。

美術印刷
オフセット・凸版印刷・写植
デザイン・写真製版・製本
ポスター・レッテル・パンフレット
株券　雑誌・新聞・書籍・帳簿
第一印刷
函館市惠比須町2　T③1044・②6714

函館小売物価調査報告

（昭和36年11月15日現在）

品目	単位	今月価格	指数（30年平均=100）	前月比	指数×ウエイト
総平均（171品目）			103.7	99.5	102,512.5
食料品（71品目）			101.8	99.0	45,074.4
穀類（6品目）			96.6	99.1	13,164.0
配給米	1 kg	84	99.8		7,015.9
自由米	〃	82	92.6	97.6	
配給麦	〃	92	99.8		5,000.4
自由麦	〃	55	94.3		568.9
大豆	100 g	6	82.5		462.1
小豆	〃	10	83.7		33.0
					83.7
粉・粉製品（3品目）			114.6		1,146.4
麦粉	1 kg	54	92.0		184.0
麩	100 g	10	128.0		524.8
うどん	〃	8	112.2		437.6
野菜・果実（12品目）			117.1	115.6	2,856.3
しょうが	1 kg	25	76.8		92.2
しょうが	〃	17	69.2		96.9
ほうれん草	〃	22	73.5	146.7	110.3
ねぎ	〃	120	224.7	240.0	382.0
白菜	〃	90	162.0	150.0	226.8
大根	〃	70	147.7		103.4
玉ねぎ	〃	10	34.2		78.7
にんじん	〃	65	216.7	118.2	433.4
かぼちゃ	〃	40	107.1		75.0
りんご（紅玉）	〃	110	111.2	91.7	745.0
りんご（国光）	〃	50	106.8	111.1	512.6
		—	—		—
鮮魚（6品目）			97.2	80.6	2,751.3
ぶり	100 g	70	129.4		647.0
さけ	〃	10	122.9		295.0
ほっけ	〃	10	90.3	66.7	207.7
さば	〃	5	72.6	83.3	275.9
かれい	〃	5	87.9	71.4	931.7
肉	〃	15	93.8	75.0	394.0
乾物（5品目）			90.2		895.6
干しいわし	100 g	30	113.6		295.4
節	〃	—	—		—
塩鮭	〃	30	77.0		277.2
干ざけ	〃	35	50.0		45.0
塩干のり	1帳（10枚）	150	99.3		278.0
畜産食品（8品目）			109.5	99.6	2,880.3
牛肉	100 g	80	129.3		749.9
豚肉	〃	60	102.3		705.9
ハム	〃	75	100.1		170.2
ソーセージ	〃	45	93.1		65.2
鶏卵	〃	30	112.9	93.8	158.1
牛乳	1本	14	110.5		198.9
粉乳	1かん	300	100.0		290.0
バター	1函	170	106.3		542.1
調味料（8品目）			107.9		3,808.1
塩	1 kg	21	100.0		80.0
食しょう油	1本	170	114.6		1,054.3
味噌	1 kg	85	119.1		1,000.4
砂糖	〃	150	98.8		968.2
食用油	1 ℓ	195	102.0		316.2
マーガリン	1函	80	100.0		100.0
ソース	1本	55	94.1		65.9
化学調味料	1缶	210	97.0		223.1
加工食品（6品目）			107.1		2,689.1
豆腐	100 g	5	121.7		1,058.8
油揚	〃	18	96.1		567.0
こんにゃく	〃	4	125.0		337.5
たくあん	〃	5	92.8		139.2
竹輪	〃	10	83.3		216.6
かん詰	1缶	35	100.0		370.0
菓子（7品目）			99.3		4,655.6
羊かん	100 g	30	108.0		226.8
ビスケット	1包	100	100.0		630.0
キャラメル	1函	20	100.0		630.0
ドロップ	100 g	29	113.5		1,101.0
せんべい	〃	23	86.6		1,255.7
甘納豆	〃	15	94.5		160.7
かすてら	〃	40	103.4		651.4
嗜好品（10品目）			102.2		10,227.7
清酒（1級）	1本	880	103.5		993.6
〃（2級）	〃	525	104.0		3,983.2
ビール	1本	125	100.0		1,260.0
焼酎	〃	355	104.7		628.2
ウィスキー	〃	330	100.0		420.0
緑茶	100 g	43	100.8		342.7
紅茶	1罐	150	100.0		40.0
たばこ（ピース）	1函	40	100.0		320.0
〃（いこい）	〃	50	100.0		2,020.0
ジュース	1本	300	100.0		220.0
繊維品（26品目）			105.3		21,629.7
織物（11品目）			106.6		10,208.5
綿織物（4品目）			109.4		4,430.1
キャラコ	1 m	120	115.9		1,471.9
晒木綿	1反	300	105.3		410.7
ポプリン	1 m	120	100.0		1,520.0
ネル地	〃	120	118.1		1,027.5
毛織物（3品目）			102.2		4,148.5
オーバー地	1 m	2,800	144.9		1,478.0
男子服地	〃	2,000	62.5		950.0
〃	〃	1,600	113.2		1,720.6
絹織物（2品目）			114.4		777.9
富士絹	1 m	420	114.4		777.9
銘仙	1反	—	—		—
化繊織物（2品目）			107.8		851.9
スフモスリン	1 m	75	112.3		247.1
ナイロン サージ	〃	260	106.1		604.8
洋服類（5品目）			95.9		5,781.9
男子背広服（冬）	1着	9,000	83.6		1,772.3
〃（夏）	〃				
男子ズボン（冬）	1本	2,800	75.7		908.4
〃（夏）	〃				
作業服	1着	2,300	128.3		1,321.5
レインコート	〃	3,500	109.2		851.8
男子生徒制服	〃	3,350	103.1		927.9
洋品類（6品目）			115.7		3,991.2
男子メリヤスシャツ（薄地）	1枚	250	142.0		979.8
〃（厚地）	〃	300	111.8		771.4
男子ワイシャツ	〃	1,000	108.4		650.4
男子くつ下	1足	150	90.6		652.3
婦人くつ下	〃	450	128.2		705.1
婦人たび	〃	280	116.1		232.2
その他繊維品（4品目）			111.4		1,648.1
ぬい糸	1把（約18.8 g）	20	100.0		130.0
毛糸	1本（500 g）	1,400	98.5		689.5
打綿	1本（3 kg）	1,580	121.5		461.7
毛布	1枚	1,600	135.9		366.9
建材家具（14品目）			103.9	100.9	6,681.5
建築・材料（9品目）			107.4	100.2	4,188.4
松板材	1 m²	340	129.8		986.5
松角材	1 m³	21,600	102.2		1,185.5
合板	1枚	210	125.9	105.0	201.4
セメント	1袋	400	98.6		1,055.0
板ガラス	1枚	60	116.6		221.5
畳表	〃	500	105.0		315.0
くぎ	100 g	8	79.1		63.3
針金	〃	8	92.3		92.3
亜鉛鉄板	1枚	260	84.9	96.3	67.9
建具・家具（5品目）			98.5	102.0	2,493.1
窓ガラス戸	1本	450	120.2		276.5
食卓	1脚	4,600	89.1		436.6
タンス	1さお	5,800	93.9	105.5	948.4
机	1脚	4,000	108.3		433.2
いす	〃	2,450	99.6		398.4
燃料（5品目）			108.5	100.2	8,204.3
木炭	1俵（30 kg）	880	109.5	103.5	450.9
まき	1敷	6,800	116.4		1,559.8
石炭	1 t	8,750	107.3		4,453.0
ガソリン	1 ℓ	47	106.0		1,441.6
灯油	1罐（18 ℓ）	450	100.0		290.0
機械器具（15品目）			99.0		5,781.1
家庭用電気機械器具（9品目）			100.7		1,631.1
電気洗濯機	—	24,570	101.7		244.1
電気冷蔵庫	—	68,200	94.5		198.5
電球	1個	65	100.0		80.0
螢光灯	1本	300	100.0		70.0
テレビ	—	51,300	100.5		552.8
ラジオ	—	10,200	99.9		189.8
乾電池	1個	40	100.0		60.0
扇風機	—	10,770	105.5		126.6
電気井戸ポンプ	—	25,160	109.3		109.3
自動車・自転車（3品目）			99.5		1,889.7
乗用自動車	—	909,700	99.0		544.5
自動二輪車	—	55,000	103.4		589.4
自転車	1台	15,500	96.9		755.8
その他機械器具（3品目）			97.4		2,260.3
ミシン	—	23,300	94.3		707.3
カメラ	—	18,350	100.1		410.4
時計	1個	4,700	98.5		1,142.6
雑品（40品目）			106.8	99.3	15,141.5
医薬品（5品目）			94.3		1,442.1
感冒薬	1箱（25錠）	150	101.6		325.1
胃腸薬	1〃（24包）	100	100.0		150.0
栄養剤	1〃（30錠）	250	92.9		576.0
外用薬	1個（5 g）	40	80.0		224.0
脱脂綿	1袋（50 g）	40	104.4		167.0
化粧品（4品目）			100.0		980.0
クリーム	1個	150	100.0		240.0
ポマード	〃（55 g）	100	100.0		90.0
化粧石けん	1個	30	100.0		250.0
洗たく石けん	1袋	500	100.0		400.0
新聞・雑誌（4品目）			106.2		2,218.9
新聞	1カ月	370	100.0		1,040.0
月刊誌	—	125	94.9		332.2
小供向月刊誌	1冊	150	109.8		384.3
週刊誌	—	40	132.1		462.4
履物（6品目）			102.9		2,100.0
男子革靴	1足	3,200	97.7		596.0
婦人革靴	〃	2,000	100.7		372.6
婦人運動ぐつ	〃	350	102.9		247.0
雨ぐつ	〃	700	103.8		249.1
げた	〃	450	115.4		427.0
サンダル	〃	300	99.2		208.3
紙・紙製品（4品目）			134.5		2,124.8
ちり紙	100枚	15	151.2		952.6
包装用紙	1枚	12	128.6		257.2
封筒	1束（10枚）	20	100.0		420.0
ノートブック	1冊	30	150.0		495.0
台所用品（7品目）			111.5		2,028.4
飯茶わん	1個	20	117.6		294.0
コップ	〃	25	130.8		300.8
やかん	〃	450	122.2		207.7
バケツ	〃	150	106.8		181.6
なべ	〃	430	113.4		430.9
魔法瓶	〃	1,900	92.7		417.2
はし	1袋（20ぜん）	20	115.4		196.2
その他雑品（10品目）			102.6	97.5	4,247.3
グローブ	1個	1,200	100.0		480.0
つみき	1組	440	111.9		414.0
レコード	1枚	1,500	100.0		360.0
マッチ	1袋（10箱）	30	104.1		1,020.2
ほうき	1本	420	88.4		194.5
ローソク	〃	3	100.0		200.0
カバン	1個	3,000	128.3		834.0
洋傘	1本	1,200	84.0		142.8
フイルム	〃	190	79.2	79.2	411.8
鉛筆	〃	10	100.0		190.0

1. **総括概況**　11月15日現在における函館市内の新小売物価指数（昭和35年札幌、小樽、帯広の3市平均基準価格＝100）は総平均103.7となり、前月比では0.5％の下落となっています。これは鮮魚、穀類の値下りのためです。

2. **騰落品目数**

	騰貴	下落	保合	欠
品目数	8	9	151	3

緩漫ながら徐々に
現金決済から手形決済へ
中小企業 金融引締めの影響

本商工会議所は、このほど市内の中小企業を対象に金融引締めの影響について調査を行なったが、現在のところ、一般的にその影響は緩漫でそれほど深刻な様相は見られなかった。

調査結果の主要点をあげて見るとつぎのとおり。

①運転資金の借入状況　業者は一般に手堅く伸びなった経営が少なくまた市は一般に金融引締めの影響は微弱であるので、従来のワク一杯に借入れ増しの事情は微弱であるので、従来公庫等から資金を別なるものが多くいる。小規模から零細にかけての業者は運転資金の対象となって、ある程度締め出されるものもあるが信用組合、信用金庫等で運転資金を補充している。

影響は、むしろ今後あるものゝようで、業者は金融機関の忠告もあって手持在庫の縮小などを行ない将来に備えているようである。

②設備資金借入の状況　銀行では設備資金に関しては10%～20%自己資金を削減しているようであるが、長期信用銀行、中小企業金融公庫、小額なものは国民銀行等の業者であっては現金決済が手形決済に代ったものが20%～30%程度、手形サイトは十日～二十日程度長くなっている。

④下請企業の状況　十月ころから緩漫ながら引締めの様相を呈し代金回収も十二月に至って現金から手形に代ったものが現われ、手形サイトは十日から十五日に代ったものが現われ、手形が二十日から十五日に切り回収況は鈍化した。

⑤資金繰り状況および対策　手形が多くなったことゃサイトが長くなったため

インドネシアへ戦後初の尿素輸出　協和丸へ尿素五千
五百トンの積み込み作業でにぎわう中央ふ頭
（北海道新聞社提供）

に資金繰りは困難となる商工中金主軸とするものは地方銀行へ、市中銀行を主軸とするものは信金、信組への割引きのシワ寄せをせざるを得ない模様である。設備資金については中小公庫、国民公庫あるいは設備近代化資金や機械貸与制度を極力利用している。

第二回常議員会

函館商工会議所の第二回常議員会は十二月六日午後一時から二階議員室で開きつぎの議案を審議、午後二時散会した。

一、報告事項　①各委員会の経過報告について②その他

二、審議事項　①委員会規程について②各種会議の定例開催日について③函館商業活性動調整協議会委員の委嘱について④新産都市建設の推進について⑤その他

八百億円を突破
戦後の最高記録

函館税関の旬報によると三貿易額はつぎのとおりである。

六年中の貿易総額は八百十億円で前年より四億七千六百万円増の二百二十八億九千七百万円、輸入は一四・九%と大幅に伸えて五百十八億七千九百万円および三百六十二億六千三百万円の入超となった。道内の主要港別

◇函館

	輸出	輸入	計
一、九五五	二、〇五七	四、〇一二	

◇小樽

	輸出	輸入	計
八、九七三	五、七七〇	一四、七〇〇	

◇室蘭

	輸出	輸入	計
七、二二七	三、〇三〇	一〇、二五七	

◇釧路

	輸出	輸入	計
七、二九八	三、〇三〇	三九、三二〇	

◇札幌

	輸出	輸入	計
三、二七一	六、九二五	九、一九六	

◇稚内

	輸出	輸入	計
一、〇四七	九、八六六	一〇、九一三	

◇留萌

	輸出	輸入	計
一、三六八	五、一七七	二、七一一	

◇根室

	輸出	輸入	計
一、八九八	二、七一一		

輸出入総計六四、八四八

人の使い方

M市の某バス会社では、運転手と車掌がぐるになって一千万円以上の料金をごまかしていたこの処置もまやむを得ないかも知れないが、しかしこうする以前に、まだ方法があったような気がする。

この事件で警察にかつぎこまれた運転手の社員が口をそろえて言っていたのは、「会社の社員が口をそろえて言っていたのは、「会社の社員が口をそろえて言っていたのは、「会社